

令和4年度 第2回 東海村歴史と未来の交流館運営協議会会議録

1	開催日時	令和4年10月29日(土) 13時30分から15時00分まで
2	場所	東海村歴史と未来の交流館 活動室2
3	出席者 (敬称略)	<p><委員> 小野寺淳, 佐藤孝博, 萩谷信輝, 塩谷修, 山本美恵子, 小金沢知己, 根本和典, 川崎寿則, 渡邊和重</p> <p><事務局> 庄司真澄(教育部長), 深見孝志(生涯学習課長兼東海村歴史と未来の交流館長), 安嶋隆(東海村歴史と未来の交流館副館長兼博物館長), 物井聡(生涯学習課課長補佐), 木梨夏野(生涯学習課課長補佐), 三浦充宏(生涯学習課課長補佐), 林恵子(生涯学習課主任), 富永京生(生涯学習課主事)</p>
4	欠席者 (敬称略)	鈴木絵美
5	公開又は 非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	協議・説明事項	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業計画について ・情報発信の方策について
8	配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・【資料①】今後の事業計画について ・【資料②】情報発信の方策について
9	発言内容	<p>■議事進行：小野寺会長</p> <p>(1) 今後の事業計画について</p> <p>○ 配付資料の説明…資料①</p> <p>○ 事業等の動画放映 (JWAY提供資料)</p> <p>会長) P.1の「文化的景観の秋」という文言について, 文化的景観とは文化庁の造語だが, 何か意図があって使用しているのか。</p> <p>事務局) 現在私たちが見ている自然環境が, 人の営みとは切っても切れない関係であることを意識して使用している。</p> <p>会長) 真崎浦は文化的景観に指定されてもおかしくない。指定されれば補助金も出る。貴重な歴史資料(財産)であり, 展示</p>

だけの単発事業で終わらせないでほしい。茨城県には「文化的景観」の指定が一つもないが、真崎浦は候補地の1つになっている。干拓の歴史も含めストーリー性もあり、あとは村が候補地として主張してくことが大事。

今後も多くの事業が予定されているが、継続するのは大変。柱を決めて、メリハリをつけた事業展開を図ることも大切。

委員) 文化的景観の条件は何か。

会長) 文化庁のホームページに掲載されている。文化的景観は人間の伝統的な営みによって作られた景観のこと。文化景観(学術用語)とは異なる。

委員) 古文書講座で聞いた、阿漕ヶ浦に生えている薬草が年貢として納められていたという話など、歴史とのつながりが見えてくると面白いと思う。

委員) 青少年分野に関して、DAY キャンプ(P.4)の対象は一般公募もあるのか。

事務局) 一般公募も考えている。まる博の脱穀体験等と連携してあらゆる方を対象に事業を実施していきたい。東屋を利用した焼き芋づくり等、様々な体験活動も展開していきたい。

委員) 近年、気候変動の影響もあってか自然災害が多く発生している。隣接する消防署とも連携し、防災教育関連の講座も実施してほしい。

事務局) 去年のやったん祭では消防団による防火・防災教育ブースを設置した。また、先日の広域避難訓練では、白方小学校で段ボールハウスを作る体験教室も行っている。今後も引き続き防災教育の観点を踏まえた講座を実施していきたい。

委員) 令和4年度上半期の入場者数、村松軌道展の内容、下半期メニューブックの発行時期の3点について教えてほしい。

事務局) 令和4年度上半期の入場者数は約2万人。村松軌道については、当時の石神駅から阿漕駅まで走っていた線路。実際に稼働していたのは5年程。写真は1枚も残っておらず、当時の形跡を確認できるのは、常磐線と交差するように残る構造物の一部と交流館で所蔵しているレールのみ。下半期のメニュー

	<p>ブックは現在作成中である。</p> <p>委員) メニューブックについては周知期間も考慮し早目に作成してほしい。</p> <p>【結果 (今後の事業計画について)】</p> <p>承認</p> <p>(2) 情報発信の方策について</p> <ul style="list-style-type: none">○ 配付資料の説明…資料②○ 展示・体験アーカイブの放映 <p>委員) 映像はどのように活用するのか。</p> <p>事務局) 村公式 YouTube や館内での放映を検討している。</p> <p>委員) 動画中に表示されていたキャラクターについては、視聴者が何か分かるように説明が必要。</p> <p>委員) 広報に講座等を掲載する場合、文字ばかりではなく写真も載せてほしい。写真があると目に留まりやすく、興味や関心も持ちやすい。</p> <p>事務局) 広報担当に相談する。他にも様々な媒体を使って広報していきたい。</p> <p>委員) とうかい子どもキャンパスのパンフレットはどこに配付しているのか。</p> <p>事務局) 事業の対象である小中学生に配付している。コミュニティセンター等公共施設への紙媒体での情報発信は行っていないが、村公式ホームページにパンフレットのデータを掲載している。</p> <p>委員) より多くの方の関心を引く広報活動をお願いしたい。</p> <p>委員) アーカイブ動画について、学校での活用を見据えた場合、小学3・4年生には字幕の表示時間が短く、漢字も難しい。最後まで目で追えるよう字幕の表示時間を長くし、ふりがなを振ったり、音声ナレーションをつけたりするなど、子どもたちが学校のタブレット等で活用できる (見やすい) 動画にしてほしい。</p>
--	---

	<p>委員) 動画はまだ作成途中とのことなので、今後学校の先生にも立ち会ってもらい完成させてほしい。</p> <p>委員) 広報活動は事業の実施と同じくらい大切であるが、広報専属の職員はいるのか。</p> <p>事務局) 専属の広報担当は設けていないが、展示やまる博の情報発信担当者を決めて、担当者を中心に進めている。また、誰でも広報活動できるようなマニュアルづくりを進めている。</p> <p>委員) 事業展開と広報の両立は大変なので、できれば役割分担をするのが望ましい。</p> <p>会長) DX の人材は各地で奪い合いになっている。ぜひ役場職員や教員の皆様も研修に参加するなどして、情報技術の活用を図ってほしい。</p> <p>委員) 次回以降、バックヤードの見学はできないか。</p> <p>事務局) 検討する。</p> <p>【結果（情報発信の方策について）】</p> <p>承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画制作に当たっては小学生でも見やすいような編集を検討する。 ・職員の負担軽減も踏まえた効率的な広報手段を模索する。
10 今後の予定	<p>令和5年度第1回は4月下旬に開催予定。</p> <p>協議内容は令和4年度の事業報告、令和5年度の事業計画を予定。</p>